



# つんの一で！

佐世保市立中里中学校

学校だより 第8号

文責 校長 川口 貴晴

令和6年6月25日（火）発行

- 【学校教育目標】 「自ら学び、考え、行動し、自ら『生きる力』を培う生徒の育成」
- 【めざす学校の姿】 「生徒が通いたくなる学校」「保護者が子どもを通わせたい学校」  
「地域が誇りに思える学校」「教職員が勤めたい学校」
- 【めざす生徒の姿】 「愛（合い）のある生徒～支え合い、学び合い、磨き合い、高め合い、励まし合い～」
- 【めざす教師の姿】 「時代の要請を理解し、自らの教師力・人間力を高める教師」
- 【めざす授業の姿】 「確かな学力・生きて働く力を育む授業の創造・実践」

## さあ第1回テスト!! Fight!

水曜日から今年度初めての定期テストである第1回テストが実施されます。先週末は、「部活動中止期間」でしたので、多くの生徒が「がつり」勉強したことと確信しています。1年生にとっては、中学校生活初の定期テストです。小学校時代とは違い、全教科のテストを担当する先生のオリジナル（自作）のテストとなります。ですから、普段の授業をどのくらい真剣に聞いていたかとかノートをきちんととっていたかなども重要となります。まずはしっかりと計画を立て、勉強あるのみです。「チャンスに出会わない人間は一人もいない。それをチャンスにできなかっただけである。（アンドリュー・カーネギー）」という有名な言葉があります。3年生の教室を覗いてみると、多くの生徒が残って自学をしていました。また、職員室前でも2年生の生徒が社会科の勉強をしていました。皆それぞれに限られた時間を有効に使って、できることを工夫しているのです。「時間は誰にでも平等ですが、その使い方によって結果は平等ではない」とも言われています。どうぞ、26日・27日のテストで、全力を出して、チャンスをつかんでほしいと願っています。Fight~!!がんばれ~!!



## テストは何漬けがうまい？

テスト勉強（普段の勉強も）には、これといった決まった方法はありません。各人が自分のスタイル（やり方）にあった勉強法が一番です。私は、中学入学当時は「夜遅くまで勉強する派」でした。そして少しの睡眠時間で翌日のテストに臨むというスタイルでした。でも、この方法は短期的な記憶には役立ちましたが、付焼刃（つけやきば：一時の間に合わせに覚えた知識。一時しのぎに習った技術）のようで、長期的な記憶（知識）にはなっていないように感じました。そこで、中3の初め頃から「朝型派」に変えました。その成果は十分にありました。生徒のみなさんも自分のスタイルにあった勉強方法を探すことも中学時代の大切なことです。いろいろなスタイルを試して、自分にあった勉強方法、結果に結びつくやり方を見つけてほしいと願っています。今号では、いろいろな勉強方法をちょっとだけお伝えしたいと思います。参考に！

① **即席漬け**：一番力がつかない、その場限りの勉強のやり方です。テストの範囲は早くから知らされているのに、「まだ6日ある」「まだ5日ある」と毎日先送りして、とうとうテスト当日に…。結局何もやっておらず、もうこうなったら逃げようがありません。万事休すです。テスト直前に教科書やノートをパラパラと見るだけで、何にも理解していないままでテスト用紙にボ～ッと向かっているしかありません。どうもこの即席漬けは味が悪そうです。

② **浅漬け**：「明日の朝、必ず5時に起こしてよ。どうしてもやることあるから！」とお家の人に頼んで、普段朝寝坊のAさんが、珍しく朝早く約束通りに起きました。でも頭の中は…。普段からやりつけないことを急にやったからです。『早起きは三文の得』と昔からいいますが、それもきちんと習慣になってのことです。その日だけでは効果は知れています。でも即席漬けよりは少しだけましな味かもしれません。「朝型派」になるには普段からです！



③ **一夜漬け**：これまで、特に勉強らしい勉強もせずに、いよいよ明日からテストという日になって、その夜だけ机に向かい、テスト勉強をすることです。せっぱつまった気持ちがあるために、意外に能率があがる勉強になります。頭にもよく入ります。勉強したあと、十分に睡眠をとればテストの時、思い出すこともできることがあります。しかし、2～3日過ぎると勉強したことを忘れてしまうことが多く、勉強本来の意味から考えるとあまりお勧めできる勉強方法ではありません。「単元末テストではまあまあだけど、定期テストや実力テストが…」という人は、このタイプが多いのでは？日々の積み重ねが大切です！

④ **古漬け**：何といってもこれが一番。何日も前から計画的にたっぴりと時間をかけているのでよく頭に入り、理解し、よく覚えており、自然とテストも高得点になります。

テスト以外の知識も豊富なので、当然成績もグングンよくなっていくようです。やっぱり普段からしっかり計画を立て、立派な古漬けになるようにしてほしいものです。味も最高になること間違いなしです！



みんなで「古漬け勉強法」を実践しましょう！

# 第1回テスト

	6月26日(水)			6月27日(木)		
校時	1	2	3	1	2	3
1年生	理科	英語	数学	国語	社会	音楽
2年生	数学	国語	社会	英語	音楽	理科
3年生	数学	社会	理科	音楽	国語	英語

## お世話になります!なってます!③

「お世話になります!なってます!」の第3回目です。今回もいろいろな場面でお世話になる方です。

ご自身からの自己紹介と共に写真も載せていますので、早く名前と顔を覚えてくださいね。

●神田 知保(かんだ ちほ)さん【ICT支援員】

本年度よりICT支援員になり、中里中学校へは毎週水曜日に出勤させていただきまます。お困りごとがあるときは、お気軽に声をかけてください。1年間よろしくお祈いします。



## 声～若い広場!

中学生 辻 和真(12)

4月に僕は中学校に入學し、吹奏楽部に入った。友達からほかの部活に誘われていたが、自分の一番したかったことが音楽だったので、入ることに決めた。

希望する楽器はアルトサクソだ。アルトサクソとはサクソスの一番小さなものだ。初めて触った時に、かっこよくてうまく吹くことができたので、それに決めた。

吹奏楽部にはコンクールがある。先輩方は今、コンクールに出るための練習をしている。僕はコンクールに参加したい。だから、これからもっとたくさん練習をしたい。

### 吹奏楽部に入部 練習するぞ

思っている。アルトサクソのパートには主旋律のパートもある。そんなパートがあるから、その堂々と吹けるようにしたいと思っている。

そのために、基礎から部分練習までどんな練習でもしっかりしていきたいと思う。どんなに小さな努力でも、積み重なれば大きなものになると思っている。だから、ささいなことでも力を抜かずに努力していきたい。

これからコンクールの向かって、たくさん練習を積んでいくと思う。コンクールには、生半かな努力では出られない。だから、これからもっと努力を続けていきたい。(佐世保市)

本校1年生の辻和真さんの投稿記事が5月6日付の長崎新聞に掲載されました。ご紹介します!

## 5月31日「いのちの講話」の感想から

5月31日に本校で行った「いのちの講話」についての生徒の「感想・気づき」と「これから頑張っていこうと思うこと」をいくつか紹介します。6月28日(金)には「6・29平和集会」も実施します。改めて「いのち」について考えましょう。

※ほぼ原文通り

### 感想・気づき

○命の大切さを改めて感じました。小さなことにも気づいて感謝できる人になりたいし、小さなことに気づいて行動できる人になろうと思います。

○自分の命、人の命の大切さ。一人一人自分の人生があってそれは素晴らしいこと。身の回りの生活は誰かの思いやりで成り立っていて、それに自分は感謝すること。

○ちくちく言葉は、言っている人も言われた人もよい気持ちにはならないけど、ふわふわ言葉は、言った人も言われた人も、その周りにも笑顔になったり、場を和やかにしたりする力があるんだなと気づいた。

○一人一人、大切な命があるから他の人が傷つくようなことは言わずに、いじめなども絶対にないようにしたいと思います。

○改めて命は大切だと思いました。昔は若いうちに亡くなった人がいたことがわかりました。その人たちの分まで、めいっぱい生きようと思いました。

### これから頑張っていこうと思うこと

○今まで以上に人にありがとうなどの感謝の言葉を伝えていこうと思った。気づいたことに率先して動こうと思う。

○いのちを輝かせることは自分らしく生きることだと思うので、自分らしく生きられるように、今は勉強を頑張りたいです。

○失敗を笑わないクラスをつくる。自分が嫌がることを相手にしない。

○親に日頃から感謝を忘れずに過ごしていきたいです。また、みんながよい気持ちで過ごせるようなクラスにできたらいいなと思いました。

○自分の命を存分に輝かせる。

○自分も人のために何かできることはないか自分自身で探してみたい。

○変化に気づくように心がけて周りや人を見ようと思いました。命を輝かせるために頑張ろうと思いました。

○自分の人生を大切に、自分がやりたい事、やるべき事を積極的にして、充実する日々を送りたいです。

○相手が嫌だと思うことや不快に思うことをせず、相手がされて嬉しいことをしてあげたいと思った。また、困ったときは助け合いたいと思った。

